

令和6年度 事業報告

東京都建設防災ボランティア協会は、都内に大規模な地震が発生した場合に、東京都建設局等に協力して公共土木施設等の被災情報の収集、応急復旧などの支援活動を行うことを目的として、東京都建設局、東京都道路整備保全公社及び東京都公園協会の協力・支援を得て、平成9年6月に発足し、28年目を迎えました。

平成11年度からは、大規模土砂災害の発生時に、東京都などに対し積極的に支援活動を行うために、砂防ボランティア制度を当協会内に併設しました。

また、平成15年度からは「東京都地域防災計画 震災編」及び「同 風水害編」において、当協会は建設局に関連する災害ボランティア団体と位置付けられ、発災時の活動が期待されています。

令和6年度は、令和6年5月15日に開催された定期総会で決定された「事業計画」に基づき、感染症や熱中症対策に十分配慮し、次のような諸活動を行いました。

I. 防災訓練

平成23年には東日本大震災、平成25年には伊豆大島において大規模な土砂災害が発生しました。これらの復旧・復興が鋭意行われている最中の平成27年9月には関東東北豪雨による鬼怒川の決壊、平成28年4月には熊本地震、平成30年6月から7月にかけて西日本を中心とする台風7号及び集中豪雨、9月には北海道胆振東部地震の発生、令和元年9月に台風15号（令和元年房総半島台風）が上陸し記録的な強風による送電鉄塔の倒壊等により千葉県では大規模停電が発生、10月には台風19号（令和元年東日本台風）が上陸し記録的な大雨により、関東（多摩川流域・日原の崖崩壊他）・甲信（千曲川の決壊等）・東北（阿武隈川決壊等）各地方で広範囲にわたり河川の決壊・土砂災害が発生し、多くの尊い命が奪われています。また、令和2年7月には熊本県を中心に九州や中部地方など日本各地で集中豪雨が発生し、特に熊本県（熊本豪雨）では球磨川水系の氾濫で多くの尊い命が奪われています。令和4年1月には、トンガ大規模噴火津波により10県で船の沈没や養殖施設の損壊・魚の大量死など大きな被害が生じました。さらに、3月16日23時36分福島県沖を震源とするM7.4最大震度6強の地震が発生し東北新幹線が脱線するなど大きな被害が発生しました。

令和5年度は、6月～7月にかけて発生した大雨により、全国で人的被害93名・住家被害25、262件が記録されています。このような中、年明けの令和6年1月1日16時10分頃震度7（M7.6）の地震が能登半島で発生（令和6年能登半島地震）し、津波被害・斜面の崩壊・建物破壊・液状化などにより甚大な人的被害・家屋被害・インフラ被害が発生しました。被害からの復興を目指している中9月には、線状降水帯による大雨が能登地方を襲い、地震で傷んだ地質状況も影響し、大きな災害が発生しました。

令和6年8月8日には、宮崎県日向灘でM7.1の地震が発生し「南海トラフ地震臨時情報」が発出され、社会生活にも大きな影響を与えました。

幸い東京では、大きな災害は発生していませんが、日頃の訓練を充実させることが重要であると意識させる自然災害が日本中で発生しています。

令和6年度の総合防災訓練（東京都総合防災訓練は中止）・初動対応訓練においては、それぞれの課題に対応した実践的な訓練が実施されました。

1. 東京都総合防災訓練

令和6年度は、東京都・板橋区合同総合防災訓練として、東京都・板橋区が合同で8月31日（土）及び9月1日（日）に、都立城北中央公園を主会場として実施される予定でした。

9月1日（日）には、都心南部を震源とする首都直下型地震（マグニチュード7.3）が発生したという想定のもと板橋区と合同で総合訓練を、また、九都県市合同訓練の中央会場として政府調査団の受け入れ訓練を実施する予定でした。協会では、局からの依頼を受け、都立城北公園を会場とした道路啓開訓練、展示体験訓練に、四建班・東部公園班の協会員に参加を依頼していました。しかし、台風第10号等による災害級の気象状況を踏まえ訓練は中止となりました。

2. 建設局初動対応訓練

令和6年度建設局初動対応訓練は、令和6年2月4日（火）に行われました。

本訓練は、建設局職員の災害発生時における対応能力向上を図ることを目的に、本庁勤務職員はもとより、事務所勤務職員、水門管理住宅・水防住宅入居職員を対象とした大規模な訓練です。東京都心南部地域を震源とする大規模な地震（M7.3 最大震度6弱）が2月4日午前7時に発生し、都内で広域的な被害が発生しているとの想定に基づき行われました。災害等が発生したとき、被災情報の迅速な収集や応急復旧などの支援活動を行うとされた建設防災ボランティア協会員も、参集事務所に設置される各災害対策本部の編成に組み込まれました。

今年度の訓練のポイントは、

- ① インターネット環境がある状況での災害対応能力の向上を目的に、無線機や災害時優先携帯電話に変えてMCR用スマートフォンの使用
- ② 新規デバイスとして導入されたウェアブルカメラ、ハザードトークによる情報連絡の施行が挙げられます。

協会員は、各事務所災害対策本部に参集し、作戦班と応急対策班に割り振られた後、それぞれの持ち場で想定された作業を行うことによって、職員との連携を確認するとともに、有事に備えた実践的な訓練を実施しました。参加協会員は68名でした。

II. 講習会・見学会等

発災時の活動に活かせるよう災害や防災に関する知識・情報を得るため、各種講習会や大規模事業等の現場見学会を実施しました。令和6年度の実施結果は次の通りです。

1. 普通救命講習会

令和2年度から、協会としての講習会は実施しておりません。なお、「普通救命講習会」は、日本赤十字社、東京消防庁、各消防署、（公財）東京防災救急協会等で実施しています。個人として受講してください。受講された方は協会から費用の助成が受けられます。

2. 施設見学会

令和6年度の施設見学会は、令和6年11月26日（火）に秋晴れのもと実施されました。

場所は、第二建設事務所管内で整備が進む「谷沢川分水路及び等々力大橋（仮称）整備事業」です。第二建設事務所職員の案内で実施され、協会員39名が参加しました。

・谷沢川分水路工事は、内径5.5m、延長約3.2kmを泥土圧シールド工法による施工で、等々力方の発進立坑から用賀方の到達立坑まで完成済みです。現在は、放流施設などの工事を施工中でした。

・等々力大橋は東京都世田谷区（放射3号線・（通称）目黒通り）と神奈川県川崎市を結ぶ多摩川に架かる長大橋であり橋長385.9m鋼4径間連続箱桁橋で、下部工はニューマチックケーソン工法にて施工していました。

谷沢川分水路工事では、発進側の立坑から100段の階段を下りシールド内を見学しました。発進直後の急曲線施工や二次覆工（パルテムライニング工法）の仕上がりも素晴らしく参加者は改めて高い技術力に感心していました。

等々力大橋の現場は、用地の制約から、都側の橋台を除き下部工まで完了している状況でした。用地交渉の早期解決を願っています。

当日は、林所長、神山工事一課長、入澤工事二課長はじめ、担当の係長による熱心な説明など、現役職員の活躍を目の当たりにし、素晴らしい見学会となりました。最後に林所長から、東京都と皆様が所属する民間会社とは車の両輪として今後ともご協力いただきたいとの挨拶があり、滞りなく見学会は終了しました。事務所挙げての対応に、改めて感謝申し上げます。

Ⅲ. 建設局等の行事への参加・協力

災害時に備えて行う防災訓練のほか、常時の活動を通じて建設局と協会との連携を強め、また会員相互の連帯感・一体感を強化していく目的で、建設局が主催・共催している各種事業に積極的に参加しました。

1. 道路施設等点検

道路施設等点検は、道路本来の機能維持とバリアフリーという観点から多くの目で点検し、対策を講ずることを目的に、例年は、前期と後期の2回行われていましたが、今年度は、道路管理部との調整から後期のみの実施となりました。この業務は会員にとっても、日頃から管内道路事情を把握することにより発災時に役立つことが期待できることから、平成15年度後期より全建設事務所の点検業務に参加しています。また、平成26年度から道路管理部長名の協力依頼文を受け行っています。

令和6年度は、区部（三建を除く）・多摩含め10建設事務所で42名の会員が参加しました。

2. 「河川愛護月間」行事等

今年度の河川愛護月間行事は、7月6日の「環七地下の巨大トンネルを体験」を皮切りに、10月の「川を歩こうー4河川」まで、9の行事に参加しました。当協会からは、延べ人数で38名が参加しました。

3. 勝どき橋ミニツアー

再開から2年が経過し、マスクの着用も個人の判断となり、変更した案内時間と案内回数、メットフォンの利用にも慣れて、順調に運営されました。ただ、今年度も東京都広報へのお知らせが掲載できず、道路整備保全公社のホームページを介して応募される見学者が多かったようで、特に冬場の参加人数が少ない傾向が続きました。

6月から12月にかけては塗装工事の影響で、跳開部の桁が仮囲いで覆われたため、当該箇所の写真パネルを作成して説明するなどの工夫で乗り切りました。また、案内者が4名に満たない場合は活動会員全員から応援を募る、パンフレットを作成し参加した子供達から作文や絵を募集するなどの新しい取り組みも開始しました。

毎回のアンケートでもほとんどの参加者から「大変満足」との評価をいただいています。また、来年度は、ツアー参加者の累計が1万人を超える見通しです。

11月8日（金）には道路整備保全公社において研修会を開催し、来賓、会員合わせて46名が参加しました。同公社道路部の紅林道路アセットマネジメント推進室長の「勝鬨橋と可動橋」と題した講演とそれに続く懇親会で有意義な時間を過ごしました。

4. 「東京 橋と土木展」と「土木コレクション」（土木学会主催）

令和6年11月21日（木）～23日（土）の3日間、「新宿駅西口広場イベントコーナー」で開催され8名の会員が参加しました。

リニア中央新幹線などを展示する土木学会主催の土木コレクションも同時に開催されました。

「橋と土木展」では、無電柱化などの局事業や横浜と大阪の橋が紹介されたほか、今年のテーマは「橋の魅力を知る」とのことで、橋を描いた浮世絵や、橋梁模型（勝どき橋・聖橋等）、パネルなどが展示されました。最終日の23日（土）には、3本の講演があり、最後に道路整備保全公社の紅林章央さんの「浮世絵に描かれた橋」には、席がすべて埋まり立ち見の方も多という盛況でした。

来場者数は、3日間合計で約4万7千人でした。

IV. その他協会業務等

1. 会員の被服等購入助成

協会ではボランティア活動を安全・円滑に行うため、統一的な被服（帽子、ブルゾン、ズボン、ヘルメット、防寒服）を整えるべく、購入を希望する会員に「防災携行品特別会計」から助成を行っています。令和6年度は新規会員等5名にブルゾン等の購入・助成を行いました。

2. 協会ニュースの発行とホームページの公開

協会の活動状況を逐次会員にお知らせするとともに、会員相互のコミュニケーションを図る目的で「建設防災ボランティアニュース」を年間4号発行しています。紙面は協会の活動に参加された会員の活動報告や投稿をいただいた記事で構成しています。

令和6年度は、84号から87号までの4号を発行することができました。記事を執筆いただいた会員の皆様には心より感謝いたします。

発行したニュースは、会員をはじめ、会の運営に理解と協力を頂いている建設局の関係部及び各事務所、並びに東京都道路整備保全公社、東京都公園協会にお届けしています。

また、協会活動の会員への速報性と、活動のデータ保存を兼ねて開設している当協会のホームページ「東京都建設防災ボランティア協会掲示板」(<http://tokyo-adv2.info/>)を、今年度も逐次更新しながら公開してきました。また、建設局総務課広報担当の支援を得て、今年度も「けんせつ局報」の4月号から毎号を当ホームページに掲載し、会員が常時閲覧(パスワード: kyokuhou)できるように致しました。

3. 建設局幹部との交流会

平成23年から行われている建設局主催の東京都建設防災ボランティア協会に対する「感謝の会」が新年明けの令和7年1月10日(金)に開催されました。

会場は、都庁第一庁舎32階職員食堂でした。建設局の皆様31名が参加され総勢95名が参加し、実に5年ぶりとなる本庁舎内の会場で“ホーム感が溢れる”雰囲気の中、和やかに懇親の輪が広がりました。建設局からは、花井局長、上林山次長、湯川道路監をはじめ、本庁各部長、各事務所長など多くの幹部職員が、当協会からは山口会長以下64名の会員が参加し、田邊総務課長司会のもとで進行していきました。

開催にあたり、花井局長から、挨拶があり、能登半島地震に対する職員の派遣(5名)やボランティア協会の活動に対する御礼、都が目指す「首都防衛」に向け協会の経験・知見の活用などについてのお話がありました。上林山次長の乾杯で懇親会が始まり、湯川道路監の締め“地震・雷・火事・親父”になぞらえた防災の心構え?！で、大いに盛り上がった感謝の会はお開きとなりました。

本会の開催にご尽力いただいた建設局の皆様と、参加された会員に感謝申し上げます。

なお、上記活動内容の詳細は別表のとおりです。

具体的な活動経過

時 期	項 目	内 容
R6. 4. 5	6 年度 第 1 回 理事会	・新規入会会員の紹介 ・事業計画内容の確認 総会開催について
R6. 4. 9	6 年度 第 2 回 理事会	・新規入会員の紹介 ・定期総会の確認
R6. 5. 15	第 28 回定期総会	・5 年度 事業報告収支決算報告 ・6 年度 事業計画（案）収支予算（案） ・6 年度 リーダー指名 その他
R6. 5. 22	第 1 回 砂防ボランティア 全国連絡協議会	・砂防会館別館 3 階「六甲」 ・1 名参加
R6. 5. 23	6 年度 第 3 回理事会	・新規入会会員の紹介 ・現会員の住所変更に伴う参集事務所の変更 他
R6. 6. 4	6 年度 第 4 回理事会及び リーダー会	・理事及びチームリーダーの紹介 ・各行事の予定表 ・活動報告書、緊急連絡表の作成 等
R6. 6. 6	第 25 回砂防ボランティア 全国の集い	・広島市文化交流会館 3 階「銀河」 ・1 名参加
R6. 7～10月	河川愛護月間行事支援参加	・「環七地下の巨大トンネルを体験」や「川を歩こう」などの 11 行事に参加 延べ 38 名が参加
R6. 8.31～9.1	東京都・板橋区合同 総合防災訓練	・「リハーサル」四建班 2 名 ・8/31～9/1 「本番当日台風の影響により中止」
R6. 9. 17	6 年度 第 5 回 理事会	・勝どきミニツアー研修会の実施について ・施設見学会について ・その他
R6. 11～R7.2 月	道路施設点検	・10 建設事務所 の点検業務を支援 ・延べ 42 名参加
R6. 11. 8	勝どき橋ミニツアー研修会	・勝どき橋ミニツアーの開催状況 ・講演「勝関橋と可動橋」会員 40 名参加

時 期	項 目	内 容
R6. 11. 26	施設見学会（二建管内）	・ 谷沢川分水路及び等々力大橋架橋現場 ・ 39 名参加
R6. 11. 13	第 2 回砂防ボランティア 全国連絡協議会	・ 【於】 砂防会館別館 3 階「六甲」 ・ 1 名参加
R6. 11. 21 ～23	東京 橋と土木展 ・ 場所：新宿駅西口広場	・ 無電柱化など局事業の紹介 ・ 橋梁模型展示「勝鬨橋、聖橋 等」 ・ 延べ 8 名の会員が参加
R6 12. 10	6 年度 第 6 回理事会	・ 新役員の紹介 ・ 各事業の活動状況報告 ・ その他
R7 1. 10	建設局主催「感謝の会」の開催	・ 【於】 都庁第一庁舎 32F ・ 会員 64 名参加 局側 35 名参加
R7. 2. 4	初動対応訓練	・ 各建設事務所の訓練に参加 ・ 参加会員 68 名
R7. 2. 21	6 年度 第 7 回理事会	・ 新規入会会員の紹介 ・ 災害発生時の参集体制について ・ 役員改選について 他
R7. 2. 27	6 年度 第 8 回理事会	・ 新規入会会員の紹介 ・ 今後の予定 ・ その他
R7. 3. 10	6 年度 第 9 回理事会	・ 新規入会会員及び退会者の紹介 ・ R7 年度事業計画について ・ 今後の予定 他
R7. 3. 18	6 年度 第 10 回 理事会	・ 新規入会会員の紹介 ・ 事業計画の作成について ・ 総会開催関連について
R7. 3	会員登録事務	・ 登録継続の会員及び新規会員対象
R7. 3	ボランティア保険継続加入	・ 登録継続会員の保険料払い込み

道路施設等点検参加一覧表

事 務 所	実施日	参加協会員
一 建	1/31・2/5	2 名
二 建	1/10～1/31	5 名
三 建	実施せず	
四 建	1/29～2/14	7 名
五 建	1/24～1/30	5 名
六 建	1/29・2/5・2/10	3 名
西 建	2/10,18,20,25	4 名
南東建	3/7	6 名
南西建	1/29	5 名
北南建	2/21・2/26	2 名
北北建	1/27	3 名
計		42 名

※実施時期 1 1/1 9～2/2 8

令和 6 年度 「勝鬨橋見学ミニツアー」 支援活動表

活動月	活動日数 (日)	活動者数 (人)	見学者数 (人)	備	考
4月	4	19	54		
5月	5	21	42		5月9日 第54巡目
6月	4	17	58		
7月	3	15	31		
8月	4	20	54		8月8日 第55巡目
9月	4	20	34		
10月	4	19	22		
11月	4	17	24	11月8日 研修会開催 (参加会員 40名)	11月14日 第56巡目
12月	4	18	29		
1月	4	17	28		
2月	4	18	41		2月20日 第57巡目
3月	3	14	52		
計	47	215	469	研修・協議等での活動を除く (未活動日 2日)	* 累計活動状況 活動日数 661日 活動者数 3,642人 見学者数 9,849人

参考 令和5年度「勝鬨橋見学ミニツアー」支援活動

活動日数	活動者数	見学者数	備	考
48日	228人	417人	研修・協議等での活動を除く	未活動日 なし